

答弁

市長・ごくろうさまでございます。竹永議員の質問、特に青年のところですが、日本の現在において、青年の問題は大変複雑かつ大きな問題になりつつあるというのは私も共有しています、また多くの方々がそれぞれの分野でどうしたらいいのか頭を悩ませいろいろ悩み考えている状況であります。議員のような考え方も一つの考え方ですし、スポイルするかという議論もあります。昨日崎本さんの質問だったとおもいますが、冷房を効かせすぎると発汗作用がめげて、暑いときはもたんみたいなね、という議論もあるわけですね。特に就職の問題になってくると、ある程度厳しさって言うものに対する気持ち、チャレンジする気持ち、仕事をさせていただくことへの感謝の気持ち、もちろん、そのなかで極端に心理的ダメージを受けたり、精神的に困っていることについては援助する、このどちらがかけてもうまいことはいかんとおもっている。そう言うことに関して若い人がどう思っているか？まちづくりにたいしてどう考えるのか？と聞くのは大切です。

今日の夜も実は西大寺の青年達によばれてまちづくりの意見をきこうと、出向く予定になっています。又例の成人式のやり方も自主的な参画を求めてやってきたかたに声を聞くと、責任を与えられて大変だったがやりおえた達成感はずばらしいとの声を聞いています。こういうことを言ってくれる方々が式が終わっても市民会館のまわりを掃除してくれるなどの成果もあがっています。中学生のタウンミーティングだけでなく聞いていく場をもうけたい、私も努力します、ぜひ議員のほうもがんばってください。

各種審議会は1000人の方に委嘱をしているなか40歳未満は3%と言う状況です。これを多いと見るか少ないと見るか、まず、懇談会を充実させる中でそのなかで政治的関心の強い方が審議会委員へとさせていただく流れを作りたいと考えている。

総務局長・青年の行政参画の分野ですが、まず、青年の町自治体宣言ですが、青年層の意見を市政に反映することは大事だとおもいます。今後も青年も含めた幅広い層の意見を聞いて市民協働をしていきたい。家賃補助等については、育、食、住の総合的な施策として考えていきたい。

小規模工事についてです。内部調査は都市整備局において各関係者から事情徴収をしその結果一部の部署において適正な手続きが行われておらず、予算を上まわって行われていたこと、過年度施行で支払われていないなどの実態はわかったが全庁的な実態や過大工事、架空工事の事実はつかめなかった。「組織的な非行ではないか？」ということについてですが、職員を信頼したいという気持ちはあるが平成12年度、13年度の調査の結果から思えば、これまでの慣行であったといわれても否定できない結果だ。

『市長が謝罪すべきと考えるか？』という質問についてですが、「架空工事などの事実を調査する考えですが、本来なすべき事務執行が出来ていないことに対して職員幹部いつどう襟をただしていきたいと考えます」

「たまたま担当していた職員を処分することは問題だ」という指摘に対してですが、小規模工事につきましては組織的な問題だと考えていますが未施工、過大支出に対しては内部調査だけでは限界がある、現在告訴を含め弁護士と相談中です。結果においては市民の信頼を得るための的確な措置が必要である、と考えています。

企画局長・・・合併政令市問題で青年の声を聞くしくみをとという質問に対してですが、青年層も含めて、合併協議会では情報開示をしばひろく市民の意見を聞いていきたいと考える、家庭でもこの問題を話題にしていきたい。

保健福祉局長・・・青年の雇用対策についてですが、ご承知のとおり雇用対策は基本的には国の業務でありまして本市としては関係機関と連携しながら情報提供などの側面的な援助を行っているところです。実態調査をというご指摘ですが、既に国において毎月詳細な労働力調査や、国民生活白書もあるのでこれらの指標を活用したい。相談窓口ですが、岡山労働局における総合的な情報窓口や、県の労働相談、労働組合もあるのでこれらの取り組みの周知にとりくみたい。就職面接会に関しては、市も関わっている各関係との連携で若年者に対しての面接会をまいかいしています。なお、市民が雇用に関する情報をもう少し詳しくするため昨年HPを開催した岡山労働局に市のHPからもリンクできるよう調整しています。

環境局長・・・合特法についてですが、問題点については包括外部監査の報告書の中でいくつかの指摘があります、これまでも議会や審議会であきらかにされたとおりし尿処理業者の減少がいちじるしい。どのくらいの金額の代替業務が適切かという基準が明確にないことが指摘されております。なお代替業務の委託契約自体は一般の委託業務と同じに積算根拠にもとづいていますので、議員ご指摘の小規模工事問題とは異なると考えます。明確な基準作りについては現在審議会の中で議論しております。

下水道局長・・・合特法の見直しに向けてのご指摘のうち監査報告では下水道料金の値上げが提案されていますが、業者との関係が市民に明らかにされない限り値上げに納得しないのではとのご指摘ですが、下水道施設の維持管理の一部は代替業務として発注しておりますが、その代替業務につきましては適正な積算根拠のもとにおこなっています。したがって代替業務の委託と使用料の見直しは直接には関係しないものと考えます。一方包括外部監査の結果では下水道の恩恵にあずからない市民に下水道の経費を負担させ年々負担を大きくするより使用料を早急に値上げすべきと指摘されている。このご指摘と下水道料金受益者負担の原則から見直し作業を行っています。市民の皆様方の御理解を賜るよう努力していきたいと考えます。

西大寺支所長・・・カネボウ跡地についてのご質問ですが、8月18日西大寺13町内会の連合町内会で開催したのをはじめ、西大寺中野連合町内28町内会長、浅越本村町内会の3カ所です。都市計画道路寺幸町松崎線の早期着工を望む声や跡地の高度利用の意味合いから高層化を望む声、公共交通機関未整備のため駐車場の規模多くとってほしいなどの要望や住宅に入居者がはいるのか？の質問がでました。今後も幅広く要望を聞いていきたいとおもっていますので、よろしくおねがいします。

一連の質問に一括で答えます。これは大まかなコンセプトであり提言の段階です。

個々のゾーンやくわしい予算等議論はできていません。まず、この提言をみなさんにしっかり説明し認知して計画し、整合性をとっていきたい。合併の問題でなく、今現在も東備地域との連携や中心市街地になりうるという議論で提言されたわけです。政令市との関連は西大寺が東備地域の中心であるということから提言をいただけたものと思います。

次に施策の推進方法ですが関係部局との連携の上やりたいと思います。

観音院周辺の拠点と位置づけられている旧西大寺用金庫あとの活用に向け地域住民から活用案がしめされるなど熱心なご議論をいただいております。「西大寺の夢を実現しよう実行委員会」のみなさまがたには敬意を表したいと思います。しかし同建物は準防火地域にあり建築基準法、消防法の指導を受けなければならないほか築後40年経過しています。そのため基礎からの補修になると相当の事業費になるとおもわれます。まだまだに詰めなければいけません、現段階での事業化は無理です、御理解をいただきたいと思います。また西大寺中心市街地活性化計画でも、空き店舗を利用した活性化をするとの位置づけがあり実現に向けて推進していこうと思っています。まずこういう実現可能なところから支援していきたいと考えています。

再質問・竹永 ご答弁ありがとうございました。市長、青年問題についてご答弁色々いただきましたが、青年の問題は援助という意味は甘やかすということではなく青年の雇用の問題は社会問題だという認識に立ってご答弁いただきましたのですが、少し、ずれを感じたのでこちらの意図をくわしく説明させていただきます。雇用の問題は我が日本共産党の志井委員長が党首討論でもとりあげました。大学の就職率がオイルショックの70年代の時ですえ70%を下回ったことがなかったのに今では、57%まで下がっているということを指摘をしましたら、小泉首相も「見過ごすことの出来ない重要な問題」と答えられました。そして今後雇用対策に力をいれたいと答弁されました。「見過ごすことの出来ない重要な問題」と小泉首相が答えられた中味は国がきちんと、15年度版の国民生活白書「デフレと若年フリーターの今」と言うレポートに書いてあるんです。この中味少し読み上げます。

青年の就労の構造変化が周辺社会に次の4点にわたる問題を引き起こしている

- 1, フリーター自身が不利益をこうむったり、不安定になる
- 2, フリーターやバイトでは十分な職業能力が高まりにくく、日本全体の生産性の低下、日本経済の成長をとまらせてしまう。
- 3, 不安定身分の方が増え軽犯罪の若年化につながる
- 4, 未婚、晩婚、小子化の助長

この4点からいえることは若者の雇用の悪化は日本の未来の大問題と、国が書いてあるんです。この認識に立って、もうひとつではない岡山市も岡山の実態をつかまなければいけないということで質問にあげさせていただいたわけです。女性の実態調査をするときにDVは社会問題だということで特別にDVだけ枠組みをくんで調査をしました。その時と同じように今度市民意識調査をするわけですので雇用の問題、若者の問題を特別枠を作って調査をしていただきたいと思います、いかがでしょうか？

青年の座談会については今日も市長西大寺の方と会うそうですが、私も西大寺の青年会議所の懇談会にでたことがあります。その中で緑の多いそのままのまち、というのも意見として出ていたことをまず、お伝えします。青年座談会では青年が主体的に参画、企画をとお願いします。

青年の審議会の登用ですが、岡山市住宅マスタープランではまつづくり支援協議会の設置を定めていますのでまずそこからでも登用をお願いします、いかがでしょうか？

カネボウ跡地についてですが、今日の答弁をきいて、地域の方今日も来られています。イメージが浮かんだでしょうか？なにがどうなるのかまだはっきりしないとおもいます。支所長は支所のまちづくり推進本部が中心となってやるんだという風にいわれましたがもうあそこは3,4人の職員で、いま説明会に回るだけで精一杯と言う状況です。実現するためのイニシアチブがほんとうにそこでとれるのか？をもう一回お聞きします。

それとカフェを今五福通りにオープンさせようと地元の方ががんばっておられますが富山市ではミニチャレンジショップという運営事業があって安いテナント料で事業者育成、町の活性化のために若い人を中心に援助をおこない店でにぎわっている。高松市はテナント料無料です。そういう他都市の例も研究していただき援助をお願いします。これは要望です。

それから小規模工事ですがまず、残念なのは市長が謝罪をしてくださらなかったと言うことです。これが本当に組織的な問題という認識がおりならきちんと謝罪すべきです。もう一度このことについて見解をおねがいします。このことは、長年組織的に慣例になっていたということは否定できないと局長言われましたが、この点は監査のほうでも10年以上前からこのことやルーズさは指摘をされていたんです。それにもかかわらず今市長が監査をしたらこれが表に出たというのは疑問です。ぜひきちっとするためになぜ今まで指摘されていたのにいま表に出たのかももう一度答弁してください。

それから合特法のみなおしですが審議会の議論を待つと言う答弁ですが市の主体的な問題としてやっていただきたいという要望と下水道の使用料は受益者負担が原則と言われましたが、税金の使われ方に市民は一番興味をもち、大事に使って欲しいと思っている、小規模工事の問題、合特法の問題、また税金の使い方疑問が出ている、病院管理者の成功報酬だとかそういう問題がきちんとしたならまだ自己負担があがることは納得されるとおもいます。まずそこをきちっとすべきと要望します。そうでなければ値上げはすべきでない要望し2回目の質問をおわります。

再答弁

市長・・・青年の問題ですがあの一私も国の方の論点、小児化、犯罪、生産能力、などそのこと事態は否定しませんがあえていうとあの味方は甘いと思います、やはりたとえば今日の朝の報道にもありましたがOECDで世界の先進国を中心として15才の子ど

もの読書について調べたら難しい本をよんでいるというのが日本は1%しかいなくてダントツのビリです。うちのこどもも15歳ですからちょっとおもいあたることもあり、あまかったかなーと思うことがあったわけです、ロボコンをみておりましたら日本の青年がやっぱりあまいんですね。ベトナムの青年はすごいあらゆる手段を講じて生きていこうというセンス、本来の社会問題というのであれば、我々の青年達が自主能力をもっているかが最大の社会問題と私は思います。そう言う意味で市長の見解が政府とちがうといわれるならちがっています。そう言う意味でお答えをしたので政府を否定しているのではなくこういう考えもあるのではないかと自分で頑張ろうという精神を持つ青年を作っていこうと教育委員会とも話し合っているわけでありまして、みんなで議論し考えているのが今の岡山市の状況であります。

小規模の問題は私も残念でありもうしわけなく思っていますがまだ最終的なけじめをつけてどこまで自らに対する措置をしなければいけないとはっきりしないなかで謝罪するという事は出来ないわけで早くこういう機会をもてるようにいろんな物を整理をしているし、担当課にもきつい話だけど職員のためにも職員の働きやすい状況をつくるためにもこれはきちんとやるし、市民にも信頼感もとりもどすためにはこの1件がよくなればできるともおもっていませんが、これが解決しなければよくなるとおもっています。適正に処理をして方向性をだして今後公正に処理をしていくような段階をみて市民も納得していただけるよう考えそのプロセスの段階で謝罪する時があればしたいと思っています。

西大寺の問題で私の思いを言わせてもらおうとかつて西大寺にいろんな振興計画があった、それがことごとくと言っては何ですが多くの場合とん挫をしている。なぜかというとその西大寺の特性をかんがえるとよく事前に相談しとくべきだったとのこと、それをふまえて何を相談したいかという2つの大きな目的のためにつかってみたいこと。

一つは人口減になった原因を解明しさまざまな高齢者のための住居も含め人口を増やすこと、2番目は、西大寺の魅力を、特に新産業ゾーンの雇用の若者が増えているその人達がたのしいとおもってくれたり、他からも遊びに行ってみようとおもえるような流動人口もふやす、それと政令市になるかは解らないがそう言う発展の場としてのこりはちょっとあずかっとうかという方向で整理をしようという、提言であり、その基本コンセプトはみなさんどうですか？ということです。そしてつぎに開発法として官民両方でやろうかと思うがどうか？そして次に他に考える要素があったら意見をきかしてほしい。

そして事業法の決定を議論して打ち出していくことになります。いままでの案件の経緯、とん挫したことも含めて今回はより意見を集約をしています、議員の意見も多数中田型の意見になれば参考にしたいよろしく御理解をおねがいします。

総務局長・・・青年の登用ですが入居支援審議会の検討ですがいづれにしても幅広い意見を聞くように担当課にももうしいれます。

保健福祉局長・・・青年の雇用ですが、調査については今その項目が加えられるか関係部

局と協議していきたいとおもいます、私たちとしては歯切れの悪い答弁になるんですが雇用問題は国の施策で職業安定所のように職業斡旋ができないということで、歯切れの悪い答弁になってもうしわけありません。市として出来ることを精一杯頑張っ参ります。

西大寺支所長・・・議員さん、ありがとうございます、頑張ってやってくれとの声です。

当然本格的に事業化していけば今の体制ではやっていけません。まあそう言う中で進捗状況をみながら、適正な人員配置をしてもらえるよう頑張っ参りたい。

再々質問

竹永・・・ご答弁ありがとうございました、市長の青年の分野での答弁を聞いていると日本の青年は精神力がないから仕事がないというふうにとれると飛躍してきていました。そうじゃなく今日取り上げたのは雇用の問題、就職がないと言うことが社会問題だと言うこと、雇用がないことが4つの次の世代をつくるための問題点になっていることについてどう思うかが聞きたかった、もちろん、教育や他のことも関連していくことは解りますが今日は雇用の問題を聞いたわけです、昨日の崎本議員の2歳までTVをみさせない、ということは大事ですが、働くお母さんを早く帰してあげようということも解決しなければ実現しないなどいろいろ関連することは解るが、決して日本の青年が精神力が弱いから仕事がないというのでなく、今の社会が生み出した現状なんだと認識していただきたいと要望します。もう時間がないですが、カネボウ跡地のこと、「他に考える要素があったら言ってください、まだ言える」のかということが伝わってなかったので「まだまだ意見を言っ参っていいですよ」と広めていきたく参います。これも答弁いりません。

それから、小規模工事の問題です、これは、謝罪のことも含めてこれからの態度です。市長の責任としての、「地方自治ハンドブック」に自治体の長の資質が書いてありました。

「あくまでも住民の立場にたつという固い信念に加えて不正不義を許さない勇気」と言う立場で市長この問題に取り組んでいただきたい。もう一回言います。「あくまでも住民の立場にたつという固い信念に加えて不正不義を許さない勇気」この観点で頑張っ参っていただいて、それができないと資質がないということを申し上げて要望し終わります。